



令和3年4月21日

各位

上場会社名 パイプドHD株式会社  
代表者名 代表取締役社長 佐谷宣昭  
(コード番号 3919 東証一部)  
問合せ先責任者 取締役 大屋重幸  
(TEL 03-6744-8039)

## 剰余金の配当に関するお知らせ

当社は、本日開催の取締役会で、令和3年2月28日を基準日とする剰余金の配当を決定しましたので、下記のとおりお知らせいたします。

記

### 1. 配当の内容

	決定額	直近の配当予想額 (令和3年3月16日公表)	(ご参考) 前期実績
基準日	令和3年2月28日	同左	令和2年2月29日
1株当たり配当金	14円00銭	同左	12円00銭
配当金総額	109百万円	—	97百万円
効力発生日	令和3年5月11日	—	令和2年5月12日
配当原資	利益剰余金	—	利益剰余金

(参考) 1株あたり年間配当の内訳

	第2四半期末	期末	合計
当期実績(令和3年2月期)	9円00銭	14円00銭	23円00銭
前期実績(令和2年2月期)	9円00銭	12円00銭	21円00銭

### 2. 理由

当社は、剰余金の配当等会社法第459条第1項各号に定める事項については、法令に別段の定めがある場合を除き、取締役会の決議により定めることができる旨を定款に規定しております。

当社は、永続的な事業の遂行と発展を実現してゆくために、株主への利益還元が重要な経営施策の一つであると認識しており、利益剰余金を積極的に成長投資に活用するとともに、現金配当や自社株買い等の株主への利益還元によって資本効率を高めることが重要であると認識しております。

現金配当については、株主への利益還元と将来の成長投資のための内部留保とのバランスを勘案し、配当性向30%程度を目処に実施する方針を掲げており、当面この基本方針を継続してまいります。

令和3年2月期の期末配当金は、直近の配当予想のとおり1株当たり14円とさせていただきます。当期は1株当たり9円の間配当を実施しておりますので、今回の期末配当と合わせた年間配当は1株当たり23円となり、前期から2円の増配となります。

以上